

■入学者数、収容定員、在学学生数

学科名	コース・専攻名	修業年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
看護学科		4年	3・4年:80名 1・2年:60名	280名	18名	97名

■カリキュラム、時間割、使用する教材などの授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム

学年	基礎分野	専門基礎分野	専門分野		
1年次	教育心理学/教育学(教育原理・教育方法論)/論理的思考の基礎/情報モラル/情報科学概論/倫理学Ⅰ/法学概論/家族社会学/英語コミュニケーション/コミュニケーショントレーニングⅠ	人体の構造学Ⅰ・Ⅱ/人体の機能学Ⅰ・Ⅱ/臨床生化学/感染防御学/病理学/疾病治療学Ⅰ	基礎看護学概論Ⅰ/基礎看護学概論Ⅱ/基礎看護技術論Ⅰ/基礎看護技術論Ⅱ/基礎看護方法論Ⅰ/基礎看護方法論Ⅱ/基礎看護方法論Ⅲ/臨床援助技術論Ⅰ/臨床援助技術論Ⅲ/看護演習Ⅰ/在宅看護概論	成人看護学概論/老年看護学概論/小児看護学概論/	基礎看護学Ⅰ実習(対象理解)
2年次	看護物理学/コンピュータ情報処理演習/コミュニケーショントレーニングⅡ	人体の構造学Ⅲ(演習)//臨床栄養学/疾病治療学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ/リハビリテーション論/公衆衛生学/社会福祉・社会保障論	臨床援助技術論Ⅱ/臨床援助技術論Ⅳ/臨床援助技術論Ⅴ/看護演習Ⅱ/地域・在宅看護方法論Ⅰ(家族援助)/成人看護方法論Ⅰ/成人看護方法論Ⅱ/成人看護方法論Ⅲ/	成人看護方法論Ⅳ/看護演習Ⅳ/老年看護方法論Ⅰ/小児看護方法論Ⅰ/小児看護方法論Ⅱ/母性看護学概論/母性看護方法論Ⅰ/精神看護学概論/救急蘇生法Ⅰ	基礎看護学Ⅱ実習/成人・老年看護学Ⅰ実習
3年次	コミュニケーショントレーニングⅢ/人間理解の基礎	臨床薬理学/保健指導論/保健統計	地域看護学/地域・在宅看護方法論Ⅰ/看護演習Ⅴ/老年看護方法論Ⅱ/老年看護方法論Ⅲ/看護演習Ⅵ/小児看護方法論Ⅲ/看護技術論Ⅶ	母性看護方法論Ⅱ/母性看護方法論Ⅲ/看護演習Ⅶ/精神看護方法論Ⅰ/看護研究Ⅰ	地域看護学実習/成人・老年看護学Ⅱ実習/成人・老年看護学Ⅲ実習/成人・老年看護学Ⅳ実習/小児看護学実習/母性看護学実習
4年次	倫理学Ⅱ	看護と法律	地域・在宅看護方法論Ⅲ/看護演習Ⅲ	精神看護方法論Ⅱ/精神看護方法論Ⅲ/看護演習Ⅷ/看護管理論Ⅰ/看護管理論Ⅱ/国際看護論/看護研究Ⅱ(実践)/生活援助実習/看護演習Ⅹ/精神看護学実習	看護演習Ⅺ/看護の展望/救急蘇生法Ⅲ/災害看護論/総合看護セミナーⅠ/総合看護セミナーⅡ/総合看護セミナーⅢ/地域・在宅看護論実習/看護の統合と実践実習

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	臨床生化学	基礎看護学概論Ⅰ	論理的思考の基礎	人体の構造学Ⅰ	情報モラル
2	情報科学概論	基礎看護方法論Ⅰ	家族社会学	人体の機能学Ⅰ	成人看護学概論
3	基礎看護技術論Ⅰ	教育原理	コミュニケーショントレーニングⅠ	法学概論	臨床援助技術論Ⅲ
4	基礎看護方法論Ⅱ	感染防御学		家族社会学	

・年間計画(学校行事・課外活動・企業連携・インターンシップ等)

	1年次	2年次	3年次	4年次	全体
4月	入学式				始業式/健康診断 新入生歓迎行事
5月		宣誓式			
6月			領域別実習開始 3月まで	領域別実習開始 10月まで	保護者会
7月		基礎看護学Ⅱ実習			ホームカミングデー
8月					
9月			地域防災訓練 (地域看護学実習)		スポーツ大会
10月	基礎看護学Ⅰ実習				後期始業式
11月					穴吹祭
12月	解剖見学実習	解剖見学実習		解剖見学実習	学内学術発表会
1月					
2月		成人・老年看護学Ⅰ実習		看護師国家試験 看護観発表	
3月				卒業式	

■進級・卒業の条件

・卒業条件

科目の区分		卒業要件(単位)
基礎分野	必修	16
	選択	0
専門基礎分野	必修	23
	選択	0
専門分野	必修	86
	選択	0
合計		125

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
看護師国家資格	76, 2%	32	42

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学生便覧より抜粋】

(人材像)

生命の尊厳と生活者としての個人の人格尊重を基本とした倫理観を身につけ、看護の専門知識と技術を備え科学的根拠に基づいた看護実践力を有する感性豊かな看護職として、校訓「日々是前進」の精神で地域社会の保健医療福祉の発展に貢献し続ける人材を養成する。

(卒業認定の条件)

原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する。

2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の5分の1以上欠席した者は卒業できない。

3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。

■入学者数、収容人数 在学学生数

学科名	コース・専攻名	修業年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
歯科衛生学科		3年	40名	120名	17名	46名

■カリキュラム・時間割・年間の授業計画

●カリキュラム

学年	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必須分野
1年次	生物学 教育方法論 心理学 社会人基礎講座Ⅰ 情報処理Ⅰ 人間関係論	解剖学・組織発生学/栄養と代謝/生理学/口腔組織発生学/口腔解剖学 歯牙解剖学/口腔生理学/病理学 口腔病理学/薬理学/微生物学・口腔微生物学/口腔衛生学Ⅰ	歯科衛生学総論/ 歯科予防処置論基礎/歯科保存学/歯周病学/小児歯科学/歯周病予防法Ⅰ/歯周病予防法実習Ⅰ/う蝕予防法/歯科保健指導論基礎/歯科保健指導論Ⅰ/栄養指導/歯科診療補助論Ⅰ/歯科材料学/臨地実習Ⅰ	
2年次	歯科英語		歯科補綴学/口腔外科学・麻酔学/小児歯科学/歯科矯正学/障害者歯科学/高齢者歯科学/歯周病予防法Ⅱ/歯周病予防法実習Ⅱ/歯科保健指導論Ⅱ/歯科保健指導演習/歯科診療補助論Ⅱ/歯科診療補助演習/臨床検査/臨地実習Ⅱ・Ⅲ	口腔機能管理学
3年次	社会人基礎講座Ⅱ/情報処理Ⅱ	衛生行政・社会福祉論/口腔衛生学Ⅱ(統計学含む)/衛生学・公衆衛生学	歯科予防処置実践実習/歯科保健指導論Ⅲ/救命救急法/臨地実習Ⅳ・Ⅴ	専門職連携演習/歯科衛生学の統合と実践/総合歯科医学セミナー

●時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	口腔解剖学	人間関係論	口腔衛生学	特別活動	解剖学
2	口腔解剖学	人間関係論	生理学	生物学	病理学
3	歯科衛生学総論	口腔生理学	う蝕予防法	歯科診療補助論	歯周病予防法
4			う蝕予防法	歯科診療補助論	歯周病予防法

●年間計画(学校行事・課外活動・企業連携・インターンシップ等)

	1年次	2年次	3年次	全体
4月	入学式		歯科医院実習	始業式/健康診断 新入生歓迎行事
5月				
6月	保育園実習	小学校保健指導実習		保護者会
7月	見学実習		歯科医院実習	
8月				
9月			岡大実習(チーム医療)	スポーツ大会
10月		宣誓式/ 岡大実習(臨床)/ 歯科医院実習	歯科医院実習	後期始業式
11月			歯科衛生過程実践 実習/特別支援学 校実習	穴吹祭
12月			特別支援学校実習	
1月		保健センター実習		
2月	特別講義	特別講義		
3月			歯科衛生士 国家試験/卒業式	

■卒業の条件

科目の区分		卒業要件(単位)
基礎分野	必修	10
	選択	0
専門基礎分野	必修	22
	選択	0
専門分野	必修	54
	選択	0
選択必須分野	必修	7
	選択	0
合計		93

■資格取得実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
歯科衛生士国家資格	95.0%	19	20

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学生便覧より抜粋】

(人材像)

歯科の幅広い知識と確かな技術を培い、歯周治療における高い予防処置技術を身につけ、命の大切さとホスピタリティーの心をもった将来のチーム医療を担う歯科衛生のプロフェッショナルを養成する。

(卒業認定の条件)

原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する。

2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の5分の1以上欠席した者は卒業できない。

3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。

入学者数、収容定員、在学学生数

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数
医療事務・ドクター秘書学科		2年	30名	60名	10名	15名

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム

	専門科目	一般科目
1年次	医療事務／調剤事務Ⅰ／医療関連法規／歯科事務Ⅰ／医療秘書／医師事務作業補助Ⅰ／人体構造・機能論／医療機関実習Ⅰ	メディカルマナーⅠ／簿記／コンピュータ演習Ⅰ／コミュニケーショントレーニング／メディカルマナーⅡ／社会人基礎講座Ⅰ
2年次	医師事務作業補助Ⅱ／調剤事務Ⅱ／歯科事務Ⅱ／介護事務／医療コンピュータ演習Ⅰ／介護保険コンピュータ演習／病院管理学／医療コンピュータ演習Ⅱ／歯科助手演習／実務研修Ⅰ／電子カルテ演習／実務研修Ⅱ／医療機関実習Ⅱ	メディカルマナーⅢ／プレゼン演習／手話／社会人基礎講座Ⅱ／社会人基礎講座Ⅲ／研究課題演習Ⅰ／研究課題演習Ⅱ／研究課題演習Ⅲ／コンピュータ演習Ⅱ／コンピュータ演習Ⅲ

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	医療事務	医療関連法規	簿記	メディカルマナーⅠ	医療事務
2	メディカルマナーⅠ	調剤事務Ⅰ	コンピュータ演習Ⅰ	簿記	コンピュータ演習Ⅰ
3	人体構造・機能論	コミュニケーション	医療事務	介護事務	コミュニケーション

・年間計画（学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど）

4月	入学前セミナー 入学式（1年次） 始業式（2年次） 新入生歓迎行事（全学年）
5月	就職研修（2年次）
6月	保護者会（全学年）
7月	防犯講話（1年次） 前期末試験
8月	夏休み 医療機関実習Ⅱ（2年次）
9月	実習報告会、スポーツ大会（全学年）
10月	後期始業式、避難訓練（全学年）
11月	高松マイロード（全学年） 穴吹祭
12月	学内学術大会（2年次）、冬休み
1月	後期末試験（全学年）
2月	医療機関実習Ⅰ、実習報告会、就職講演会、後期終業式（1年次）
3月	卒業式（2年次） 春休み

■進級・卒業の条件  
・卒業条件

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	840
	選択	150
一般科目	必修	510
	選択	210
合計		1710

■学習の成果としての取得を目指す口、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績

資格名	実績	合格者数	受験者数
医療事務技能審査試験（医科）	100%	5	5
歯科医療事務管理士	92%	12	13
介護事務管理士	88%	7	8
医師事務作業補助技能認定試験	100%	8	8
医療秘書技能検定3級	80%	4	5

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

【学生便覧より抜粋】

（人材像）

医療と福祉の全ての施設並びに一般企業で働けるように「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の5つの分野の知識に加え、ビジネススキルを習得し、相手のことを考えて行動できる対応力や接遇力を身につける。

入職後も校訓「日々是前進」の精神で変化する社会に対応して自ら学び続ける人材を養成する。

（卒業認定の条件）

原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する。

2 当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の5分の1以上欠席した者は卒業できない。

3 相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業とする。